

(術前・術後)補助化学療法

パージェタ・ハーセプチン・パクリタキセル療法

FN(-): 催吐性 最小

診断名: HER2 陽性早期乳癌

○投与スケジュール(1 コース 21 日間)

Day1(点滴): パージェタ div 初回 840mg/body、2回目以降 420mg/body

Day1(点滴): ハーセプチン div 初回 8mg/kg、2回目以降 6mg/kg

Day1,8,15(点滴): パクリタキセル div 80mg/m²

○注意事項

- ・選択基準: ベースラインの LVEF \geq 50%(心エコー又は MUGA スキャンで測定)
- ・心障害対策: ハーセプチン投与前、投与開始後 6 カ月~1 年以内に心機能を評価する。
- ・パージェタを単独投与した場合の有効性及び安全性は確立していない。
- ・パージェタの投与調整 : 前回投与日から6週間以上の投与間隔が空く場合は、改めて初回投与量の840mgで投与を行う。
- ・ハーセプチンの投与調整: 前回投与日から6週間以上の投与間隔が空く場合は、改めて初回投与量の8mg/kg で投与を行う。
- ・パージェタ投与後の経過観察時間は infusion reaction 症状を確認するための時間であり、2回目以降、問題がなければ省略可能。(infusion reaction は主に初回投与時の投与中又は投与開始後24時間以内に出現することが多い。)
- ・パージェタ、ハーセプチン投与期間は最大1年間。